

単元名 話し言葉と書き言葉

配当時間 1時間

単元の目標 (1) 話し言葉と書き言葉の違いに気付くことができる。
 (3) 話し言葉と書き言葉の違いについての理解を深め、場面や相手に応じて適切な表現をしようとする。

標準的な展開例

06010110_001

【教材名】話し言葉と書き言葉 (P. 58～P. 59)

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 話し言葉と書き言葉の特徴について考える。 ★言葉で伝える方法を知り、表現の仕方について考えよう</p> <p>○教科書 (P. 58) の例文を読み、話し言葉と書き言葉の特徴について、経験の中で気付いたことを交流する。 ○話し言葉と書き言葉の違いについて整理する。</p> <p>○相手や場面などによる違いについて話し合い、学習を振り返る。</p>	<p>・ペアで発表し合った後に、クラス全体で発表させてもよい。 ・音声で表す言葉を「話し言葉」といい、文字で表す言葉を「書き言葉」ということを押さえる。 ・それぞれの特徴をノートに整理することが難しい場合は、ワークシートを用意し、整理させる。 【評】話し言葉と書き言葉の違いについて整理する活動を通して、それらの違いに気付く「知識・技能」を評価する。 ・教科書 (P. 59) 1 の設問や「いかそう」について考え、グループで話し合う。 【評】相手や場面などによる違いについて話し合う活動を通して、場面や相手に応じて適切な表現をしようとする「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【 備 考 】